

広域系統整備計画の進捗状況について (報告)

2022年7月22日
広域系統整備委員会事務局

- 業務規程第62条（広域系統整備計画の進捗状況の把握）に基づき、広域系統整備計画の進捗状況を報告する。

1. 東京中部間連系設備に係る広域系統整備計画（第19回 進捗報告）

- 2016年6月 広域系統整備計画策定
- 2027年度末 増強完了予定

2. 東北東京間連系線に係る広域系統整備計画（第18回 進捗報告）

- 2017年2月 広域系統整備計画策定
- 2027年11月 増強完了予定

3. 北海道本州間連系設備に係る広域系統整備計画（第5回 進捗報告）

- 2021年5月 広域系統整備計画策定
- 2027年度末 増強完了予定

1. 東京中部間連系設備に係る広域系統整備計画
2. 東北東京間連系線に係る広域系統整備計画
3. 北海道本州間連系設備に係る広域系統整備計画

■ 事業実施主体（東京電力パワーグリッド、中部電力パワーグリッド、電源開発送変電ネットワーク）より送配電等業務指針第53条に基づき四半期（2022年6月末時点）の進捗状況が提出され、運開時期に遅延がないことを確認した。

- ③ 佐久間東栄線増強
- ④ 佐久間東栄線FC分岐線新設
 - 調査・測量
 - 用地対応
 - 鉄塔・基礎設計

- ① 佐久間東幹線（山線）増強
- ② 佐久間東幹線FC分岐線新設
 - 調査・測量
 - 用地対応
 - 鉄塔・基礎設計
 - 資材（鉄塔）発注手続き
 - 準備工事

- ⑧ 新富士変電所変圧器増設
 - 調査
 - 主要機器設計
 - 主要機器発注手続き

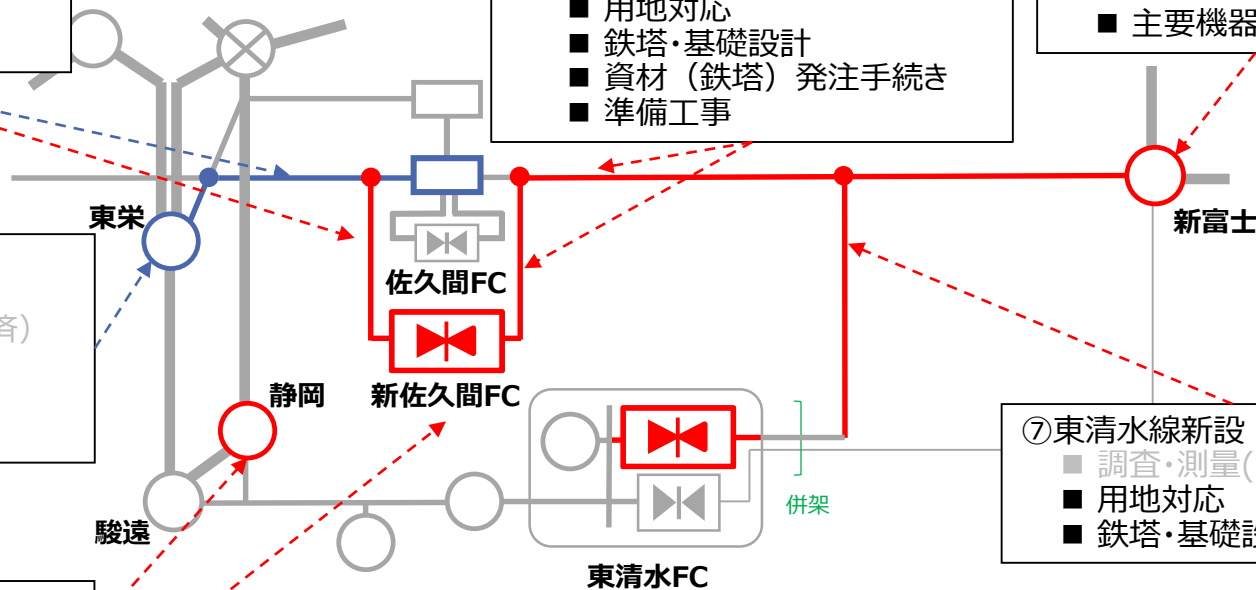
- ⑩ 東栄変電所変圧器増設
 - 調査・測量(済)
 - 土木、電気工事発注 (済)
 - 土木、電気設計(済)
 - 電気工事
 - 土木工事

- ⑨ 静岡変電所変圧器増設
 - 主要機器発注手続き

- ⑤ 新佐久間FC新設
 - 調査・測量(済)
 - 土木設計、発注(済)
 - 用地対応
 - 主要機器発注手続き
 - 土木工事

- ⑥ 東清水FC増強
 - 調査・測量(済)
 - 主要機器、土木、建築、電気工事発注・契約(済)
 - 土木、建築設計(済)
 - 土木、建築、電気工事

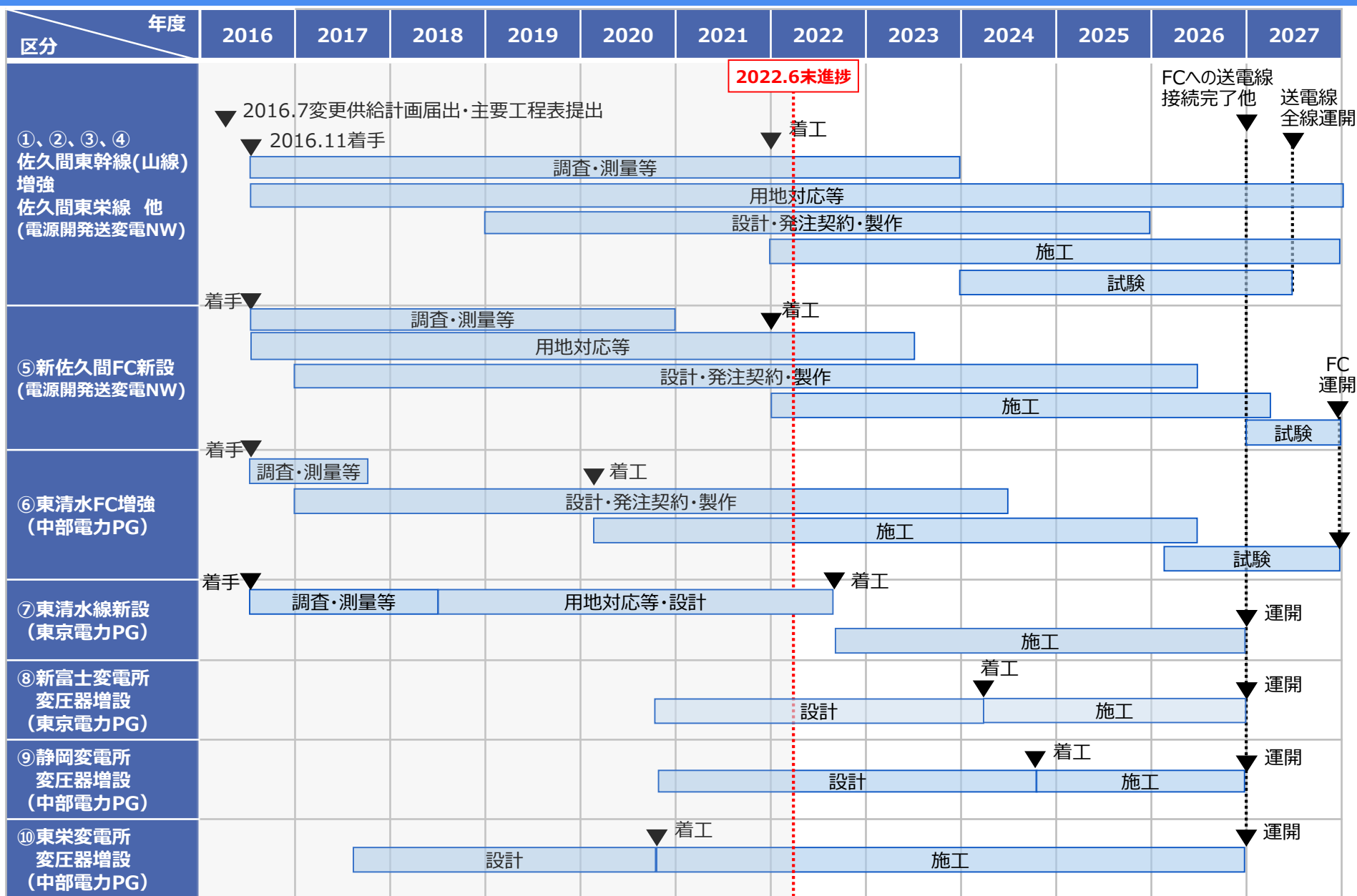
- ⑦ 東清水線新設
 - 調査・測量(済)
 - 用地対応
 - 鉄塔・基礎設計



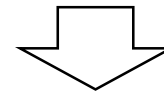
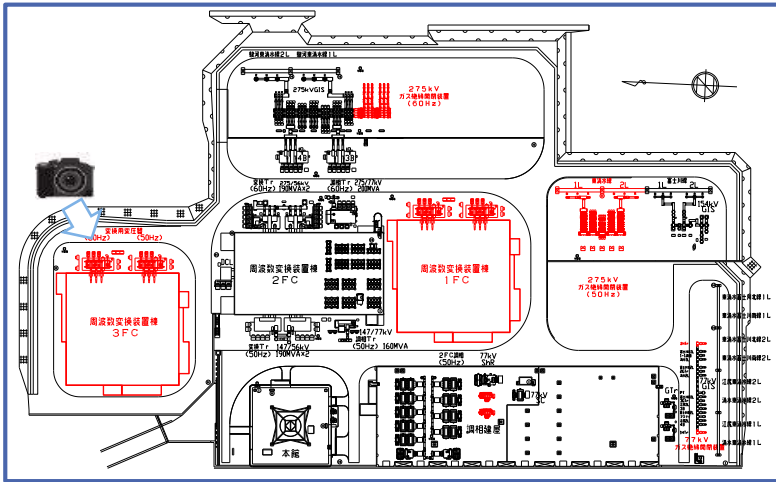
【凡例】

□	発電所	—	500kV送電線
○	変電所	—	275kV送電線
⊗	開閉所	—	154kV以下送電線
◀	交直変換所	—	直流送電線
◻	周波数変換所	黒	既設・計画中設備
		赤	対策箇所
		青	関連地内系統整備

1-2 主要工程



1-3 工事の状況 (⑥東清水FC増強 (3号FC))



(2022年6月16日撮影)



1-3 工事の状況 (⑩東栄変電所変圧器増設)



変圧器増設に伴う
送電線移設箇所

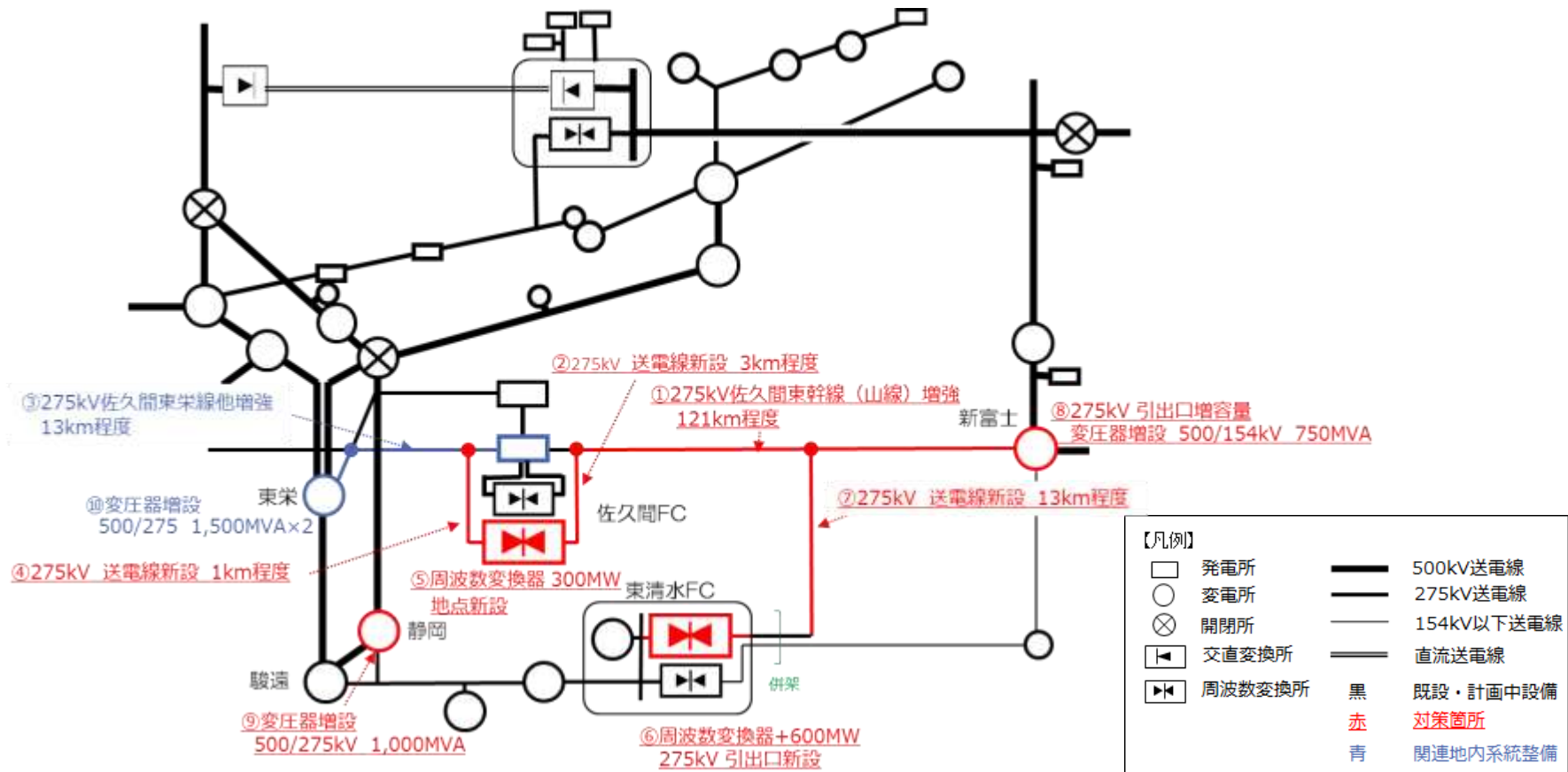
変圧器増設箇所

(2022年6月20日撮影)



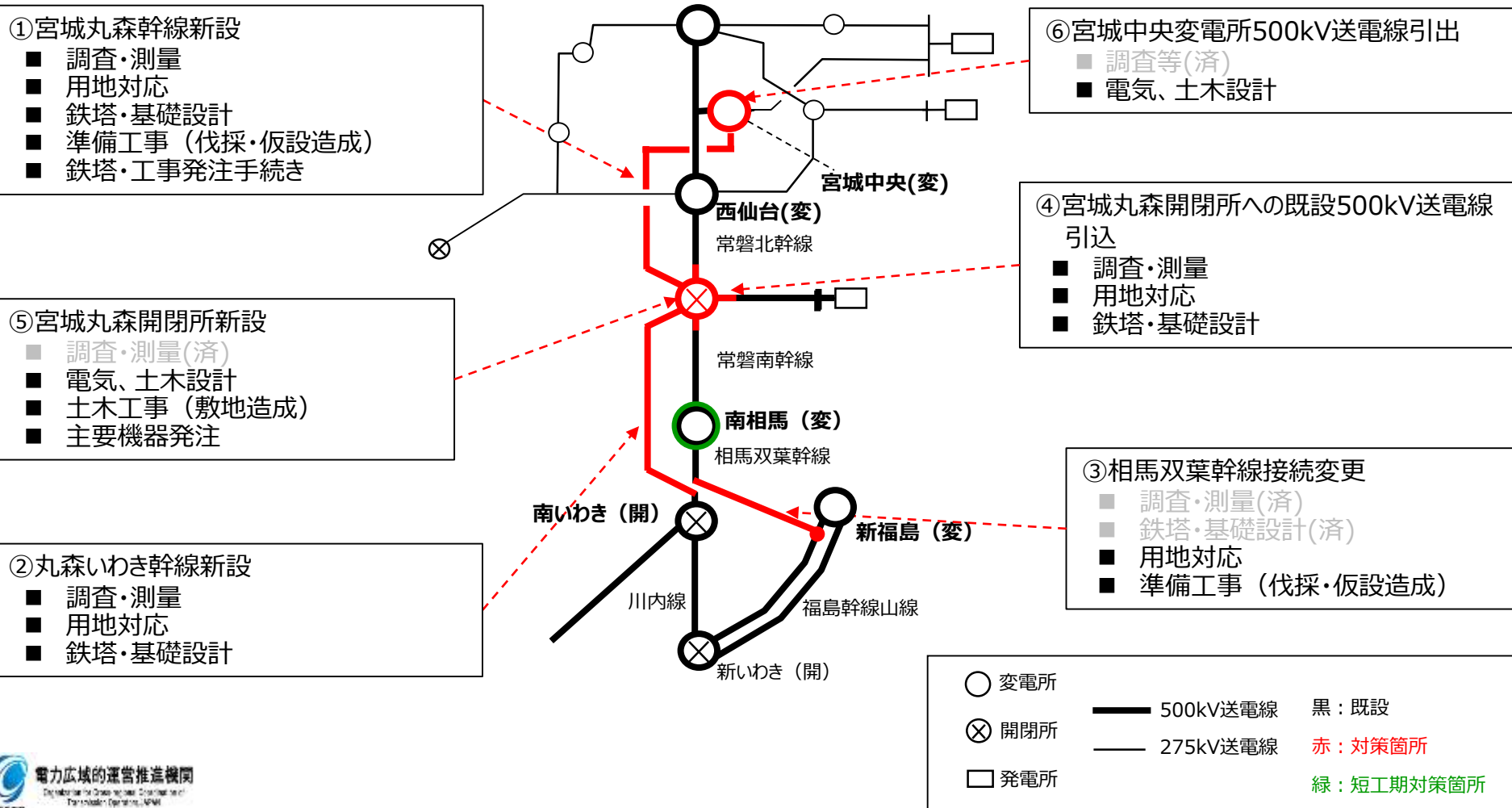
事業実施主体	主な工事
東京電力パワーグリッド	⑦東清水線新設、⑧新富士変電所変圧器増設
中部電力パワーグリッド	⑥東清水FC増強、⑨静岡変電所変圧器増設、⑩東栄変電所変圧器増設※
電源開発送変電ネットワーク	⑤新佐久間FC新設、 ①、②、③、④佐久間東幹線（山線）増強・佐久間東栄線増強※他

※関連地内系統整備を含む



1. 東京中部間連系設備に係る広域系統整備計画
2. 東北東京間連系線に係る広域系統整備計画
3. 北海道本州間連系設備に係る広域系統整備計画

■ 事業実施主体（東北電力ネットワーク、東京電力パワーグリッド）より送配電等業務指針第53条に基づき四半期（2022年6月末時点）の進捗状況が提出され、工程及び運開時期に遅延がないことを確認した。



2-3 工事の状況 (①宮城丸森幹線新設)

A. 伐採工事



B. 仮設道路造成工事



C. 仮設道路造成工事



D. 仮設道路造成工事



E. 伐採工事



F. 仮設道路造成工事



(2022年4月上旬～5月下旬撮影)

2-3 工事の状況 (③相馬双葉幹線接続変更)

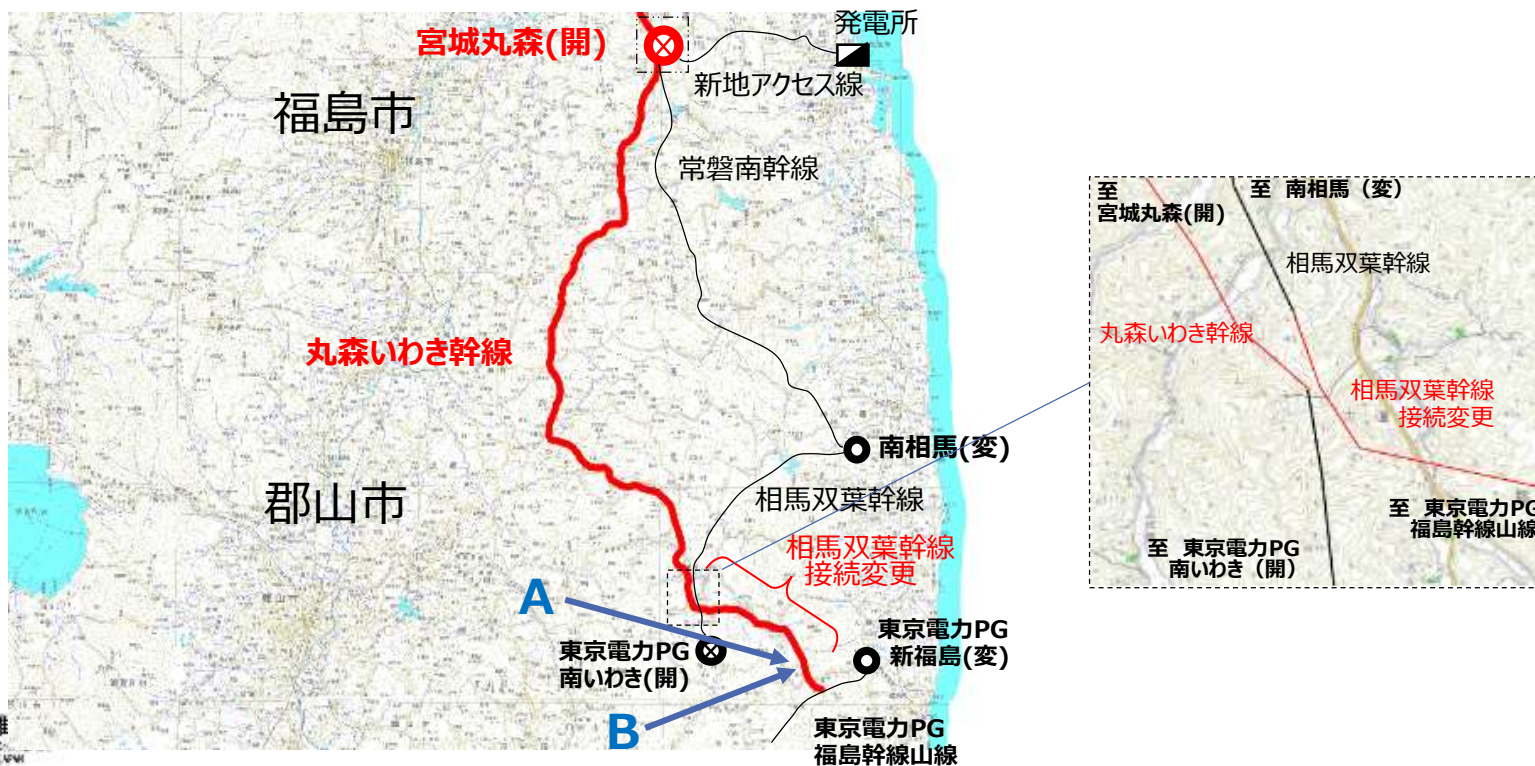
A. 仮設道路造成工事



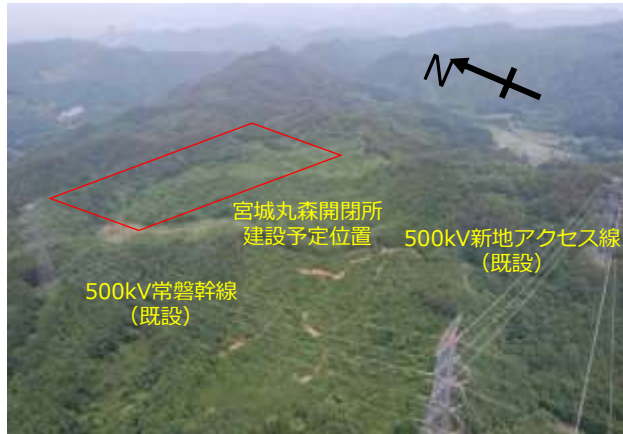
B. 仮設道路造成工事



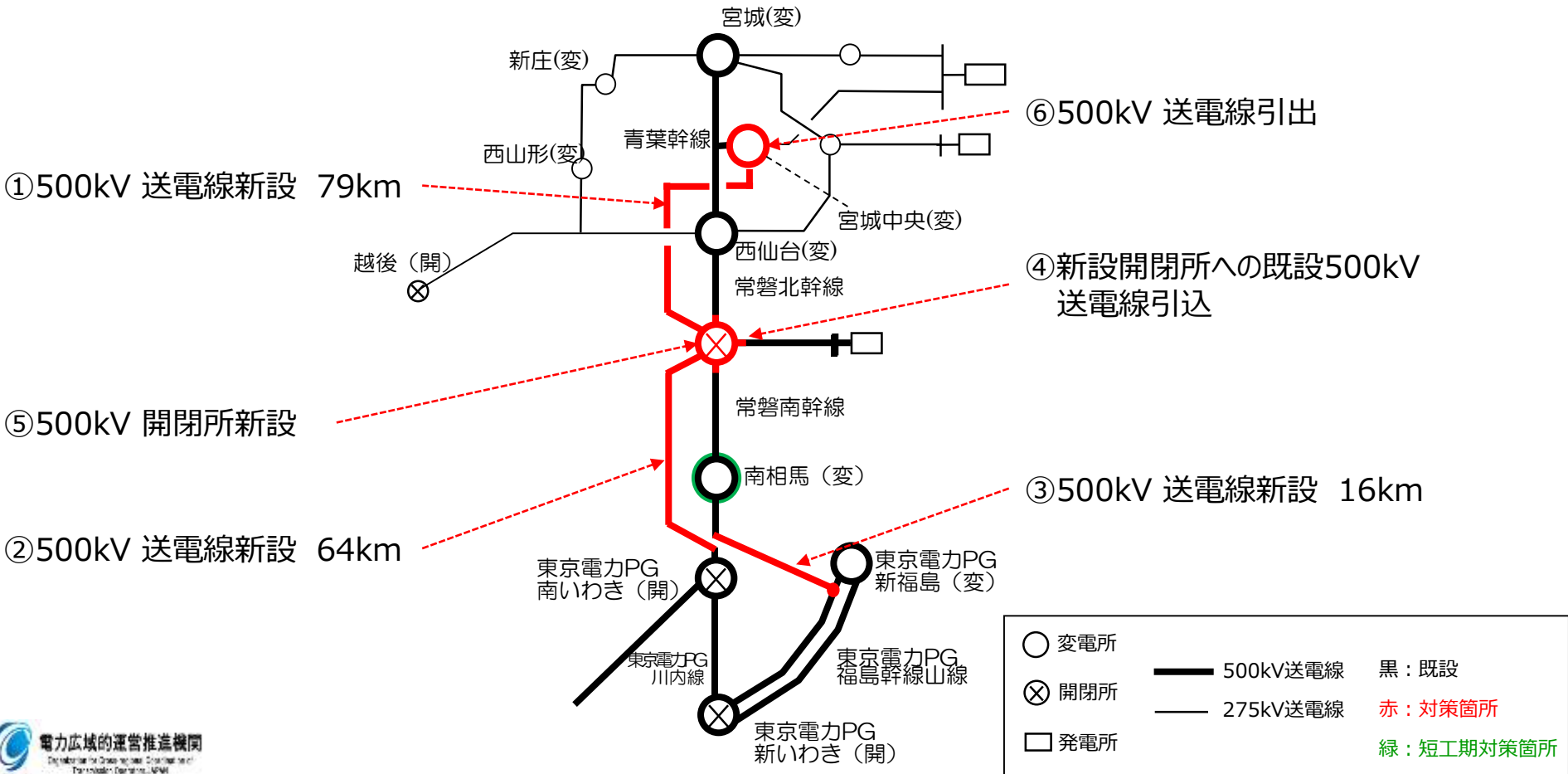
(2022年5月中～下旬撮影)



(上：2022年5月21日、下：4月23日撮影)



事業実施主体	主な工事
東北電力ネットワーク	① 宮城丸森幹線新設 ② 丸森いわき幹線新設、 ③ 相馬双葉幹線接続変更 ④ 宮城丸森開閉所への既設500kV送電線引込 ⑤ 宮城丸森開閉所新設 ⑥ 宮城中央変電所500kV送電線引出
東京電力パワーグリッド	③ 相馬双葉幹線接続変更 (福島幹線山線鉄塔建替工事)



1. 東京中部間連系設備に係る広域系統整備計画
2. 東北東京間連系線に係る広域系統整備計画
3. 北海道本州間連系設備に係る広域系統整備計画

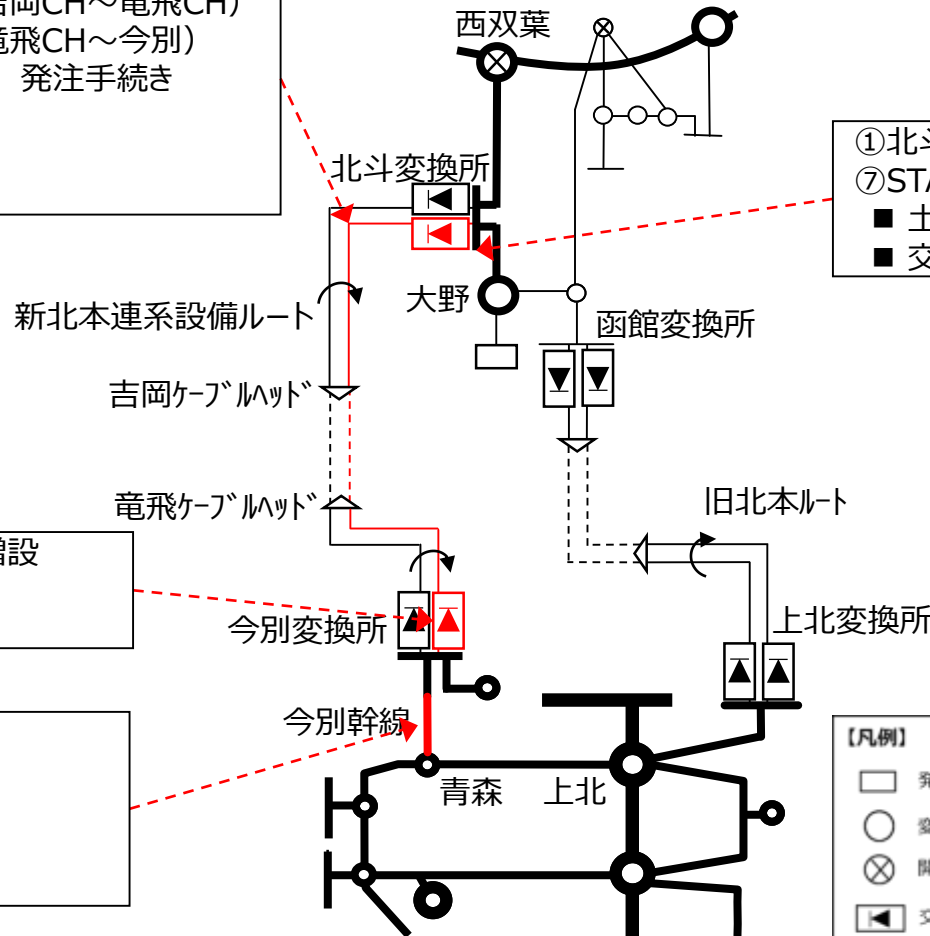
■ 事業実施主体（北海道電力ネットワーク、東北電力ネットワーク）より送配電等業務指針第53条に基づき四半期（2022年6月末時点）の進捗状況が提出され、工程及び運開時期に遅延がないことを確認した。

- ③北斗今別直流幹線増設（北斗～吉岡CH）
- ④北斗今別直流幹線増設（吉岡CH～竜飛CH）
- ⑤北斗今別直流幹線増設（竜飛CH～今別）
 - 資材（鉄塔・電線・ケーブル）発注手続き
 - 工事発注手続き
 - 調査
 - 用地対応

- ①北斗変換所交直変換設備増設
- ⑦STATCOM新設
 - 土木、建築設計
 - 交直変換設備発注手続き

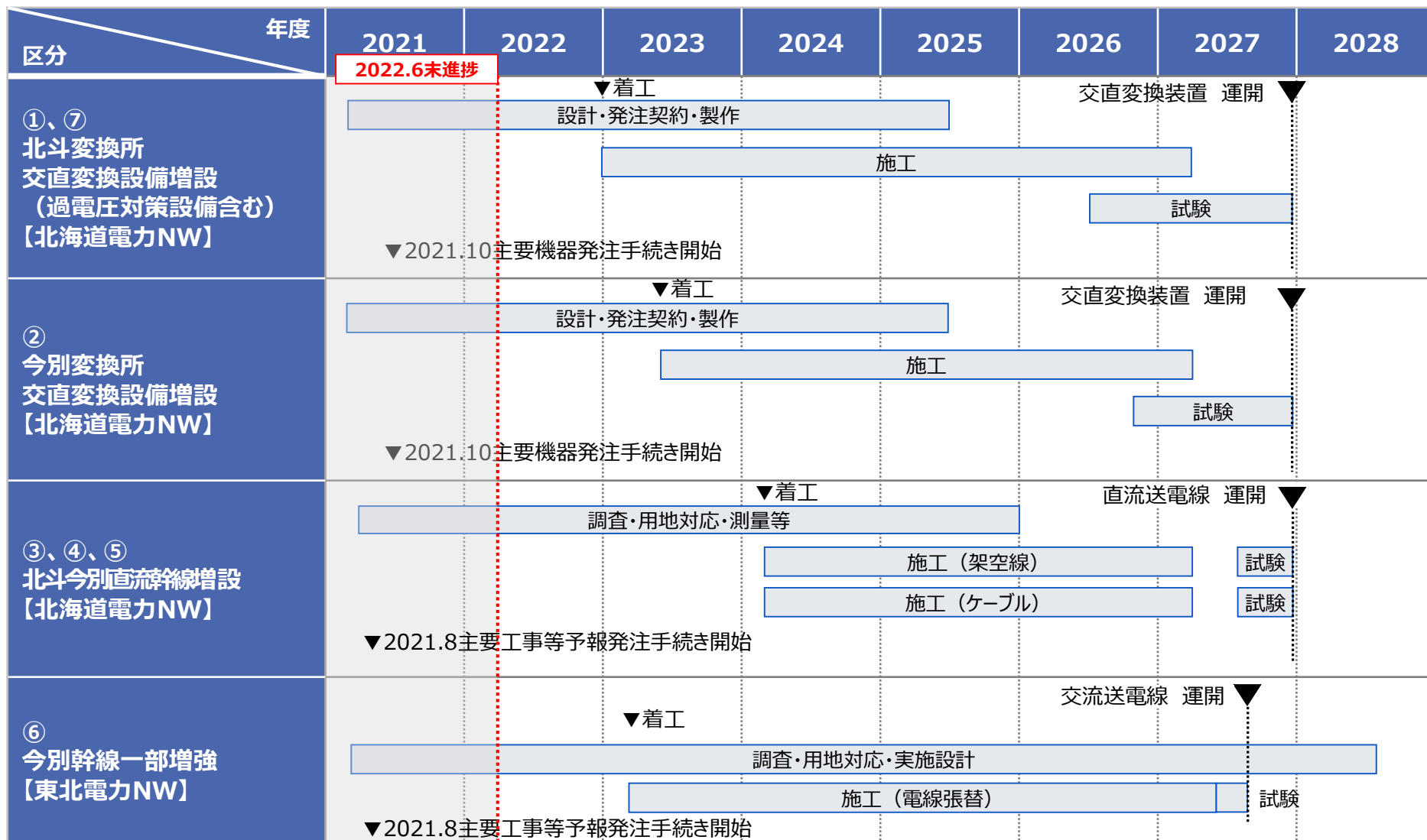
- ②今別変換所交直変換設備増設
 - 土木、建築設計
 - 交直変換設備発注手続き

- ⑥今別幹線一部増強
 - 調査
 - 用地対応
 - 資材（電線）発注手続き
 - 工事発注手続き

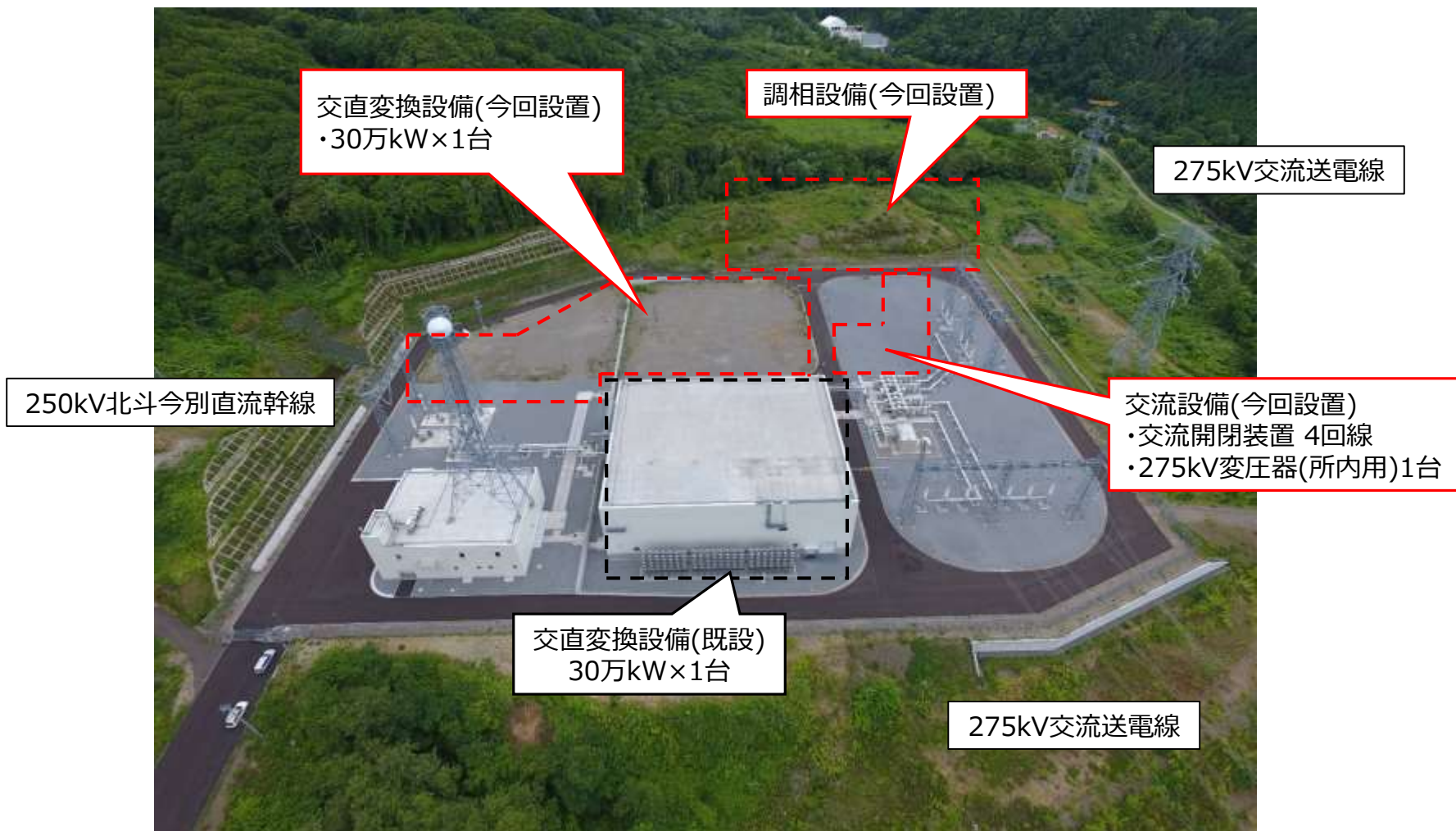


【凡例】

□ 発電所	— 500kV送電線
○ 変電所・特高需要	— 275kV送電線
⊗ 開閉所	— 187kV送電線および直流架空送電線
◀ 交直変換所	- - - 直流地中送電線
◀ ケーブルヘッド	黒 既設設備
	赤 対策箇所



(着工前)



(着工前)



事業実施主体	主な工事
北海道電力ネットワーク	①、⑦北斗変換所交直変換設備増設、STATCOM新設 ②今別変換所交直変換設備増設 ③、④、⑤北斗今別直流幹線増設
東北電力ネットワーク	⑥今別幹線一部増強

①交直変換設備増設 300MW±100Mvar
⑦STATCOM新設 ±90Mvar×2台

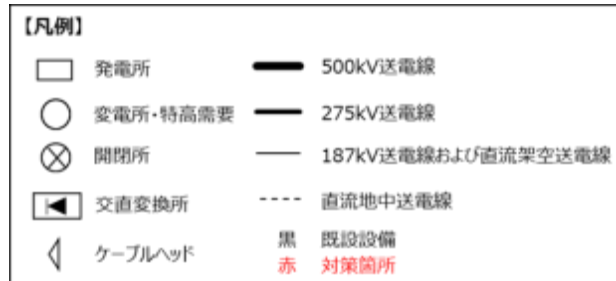
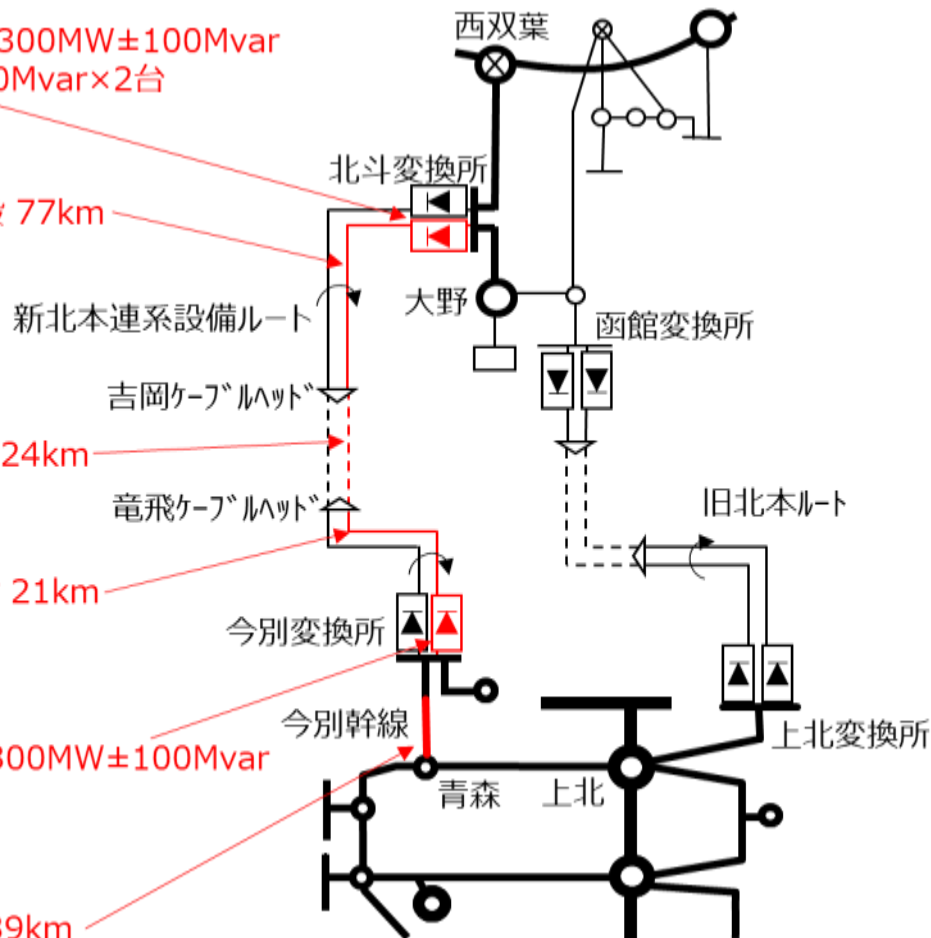
③直流架空1回線増設 77km

④直流地中1回線増設 24km

⑤直流架空1回線増設 21km

②交直変換設備増設 300MW±100Mvar

⑥今別幹線一部増強 39km



【業務規程】

(広域系統整備計画の進捗状況の把握)

第62条 本機関は、広域系統整備計画の策定後、事業実施主体から必要な情報の提出を受け、同計画の進捗状況を把握する。

- 2 本機関は、前項の規定により提出された情報に基づき、必要に応じて現地確認を行い、広域系統整備計画の工程の遅延の有無等を確認するとともに、その内容を設備形成に係る委員会に報告する。
- 3 本機関は、広域系統整備計画の進捗の遅延等により当該広域系統整備計画の目的に影響があると認めた場合は、その対応について設備形成に係る委員会において検討を行う。

【送配電等業務指針】

(広域系統整備計画決定後の情報提供)

第53条 事業実施主体として選定された者は、本機関に対し、次の各号に掲げる時期に、次の情報を提出する。

- 一 広域系統整備計画決定後速やかに 広域系統整備計画の主要工程
- 二 四半期ごと 本機関が進捗状況及び今後の見通しを把握するために必要な情報